

## JA 全農 ET センターニュース平成 21 年 6 月号

今月号は ET センターにおける黒毛和種供卵牛の育種価に関する基本的な考え方と、「ET センター黒毛和種牛の育種価判明率向上のための実証試験」について直近のデータの一部を紹介させていただきます。

### 1. ET センター供卵牛の育種価に関して

ET センターにおける供卵牛の評価は定期的に公的な機関から公表される育種価に加え、センター受精卵由来産子の肥育成績とその血統背景から BLUP 法を用いて ET センターで独自に算出した推定育種価を加味して実施しています。ET センター独自の推定育種価を算出することにより供卵牛育種価の信頼度を高めると共に本場と分場で保有している全ての供卵牛を同じ基準で評価することが可能となります。

### 2. 受精卵製造における交配計画について

ET 産子の評価向上に向けて、受精卵を製造する際の種雄牛の交配は市場評価のみならず供卵牛の育種価も考慮しながら決定しています。

### 3. 高育種価供卵牛群の構築について

ET センターで所有する供卵牛は公的機関公表育種価および ET センター算出推定育種価による総合評価の低いものから順次淘汰しております。さらに育種価の高い供卵牛から生産される ET 産子を順次 ET センター供卵牛として戻しており、ET センター全体の育種価の底上げに努めております。

### 4. 補足資料

推定育種価算出のために受精卵の移植・分娩から肥育出荷までを行なう一貫肥育農場から回収した ET センター供卵牛由来の受精卵産子の産肉成績の一部を紹介いたします(特定の血統に偏ったものではありません)

	雄 (344 頭)	雌 (176 頭)	全体 (520 頭)
枝肉重量(kg)	502.6 ± 74.5	462.7 ± 48.2	489.1 ± 69.4
ロース芯面積(cm <sup>2</sup> )	57.4 ± 8.1	58.6 ± 8.2	57.8 ± 8.1
脂肪交雑基準値	7.7 ± 1.7	7.2 ± 1.6	7.5 ± 1.7
A・B 4・5 率	93.0%(320/344)	92.0%(162/176)	92.7%(482/520)
A・B 5 率	55.8%(192/344)	40.9%(72/176)	50.8%(264/520)

紹介した数農場の成績から ET センター受精卵由来の産子で枝肉等級 4 以上の上物率は 92.7%となっております。これからも ET センター独自の推定育種価の正確度を向上するために肥育成績の回収を続けると共に今後も皆様の要望に添えるように育種価情報を活用し、より一層の受精卵の製造に励んでまいります。